

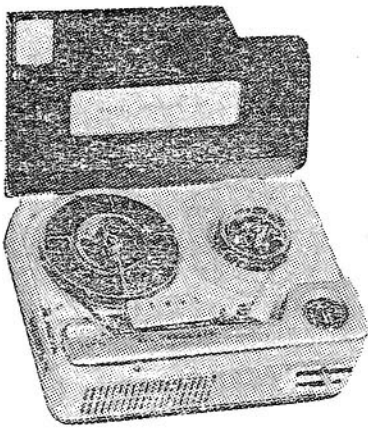
区国新製品紹介

三洋の新製品 3種

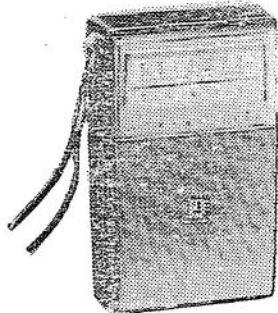
●オール TR テープレコーダー “S-60 TMR”

使用トランジスターは2SB5×3(低周波増幅)と2SB56×2(電力増幅)の5個で、録音方式は直流バイアス、半幅録音方式、消去は直流方式、テープ速度は9.5cm/秒と4.75cm/秒の2スピードのものである。使用テープは3型であるから、4.75cm/秒の速度で使えば往復1時間の録音・再生ができる。巻戻し時間は1分50秒、内蔵のスピーカーは9cm×5cmの楕円形のもので、外部スピーカーへの出力端子(7Ω)もついている。電気的出力は130mW。モーターはガバナーツキマイクロモーター、マイクはダイナミック型(HM-2型)、録音レベル指示にはメーターが使われているが、これはモーター電源電圧の指示も兼ねるものである。

電源はトランジスター・アンプ用として4-AAまたは単三×4が使われ、モーター用には単三×6が使われている。外形寸法は幅191×高さ68×奥行138mmで、重量は電池ともて2.0kgである。現金正価は¥34,000。

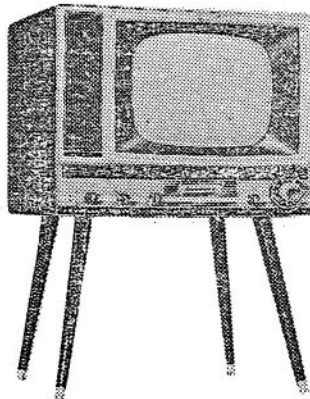


●6石 TR ラジオ “6C-30”



超小型の6石ラジオである。受信周波数帯は535~1605kcのシングル・バンド、選択度は25dB(±10kc)、S/N比25dB(入力1mV/m)、出力は無歪100mW、最大150mW、スピーカーは5cm丸型である。電池は積層乾電池006P(9V)、付属品として皮ケース、イヤホン、アンテナ・リード、電池交換券がついている。外形寸法は105×64×30.5mmで、重量は電池つきで230g。現金正価は¥6,600。

●14型受像機 “14-F115”



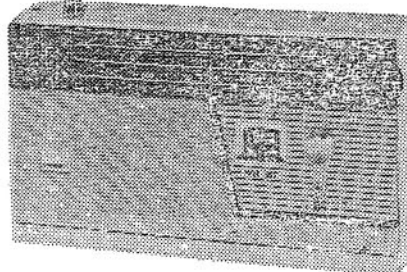
9×35cm長楕円型と10cm丸型の2スピーカー・システムと、最近はやりのAFT(自動微調整)装置を備えたものである。サンヨーAFTにはリアクタンス素子として純度が高く、高温多湿に耐えるシリコン・ダイオードを使用して自動的に周波数のズレを補正するものである。本機にはプレーヤーやAM、FMチューナーを接続することができ、また、イヤホンにより静かにテレビを楽しむこともできる。音声出力は1.2W(至率10%)である。使用真空管はブラウン管(90°メタルバック)を含めて17球。本体の外形寸法は幅540×高さ440×奥行420mmで、重量は25kgである。現金正価は¥57,000。

(大阪府守口市京阪本通 Tel. 99-1181)
三洋電機 K. K.

日立の8石ラジオ

“ベギー WH-817”

短波帯を3.8~10Mcと10~18Mcの2つに分けた3バンド・ラジオで、同調機構には2重ギャードライプの同調ツマミのほか、今までの40倍という微細同調のできるフィン・チューニング(実用新案出願中)ツマミを付加している。その上回路的にも高周波増幅1段つきで、ラジ



ケーター(同調指示・電池寿命の指示)もあって短波放送の選局にきわめて楽である。

使用トランジスターはすべて低電圧型で、高周波部の3石はメサ・タイプ(2SA133, 2SA131, 2SA132)を使っているため消費電力は少ない。ダイヤル照明ランプつきであるから暗いところでの取扱いも楽で、レコードプレーヤーをつなぐ端子もついている。感度はBC 50μV/m, SW₁, SW₂ 100μV/m、出力は無歪200W、最大250W、スピーカーは8cm、イヤホン

・ソケットは2、電源は特準二×3(4.5V)である。外形寸法は幅204×高さ120×奥行47(mm)で、重量は1.2kgである。現金正価は¥14,800。

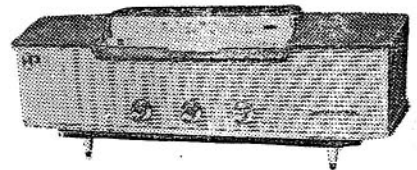
(東京都千代田区丸の内、新丸ビル内)

日立製作所 K. K.

ナショナルの新製品 2種

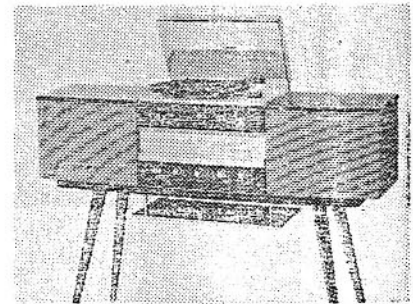
●2バンド・ルーム・ラジオ “BM-400”

押ボタン・システムのカー・スタイルである。すなわち、電源のON-OFF、音質の切換(FULL, MED, LOW)が押ボタンで操作される。また12cm型2個を使った2スピーカー・システム、およびNFB回路により音質の向上をはかっている。同調指示マジックアイがついている。受信周波数は535~1605kc、3.75~12Mc、使用真空管は12BE6, 12BA6, 12AV6, 30A5, 19A3, 12ZE8。電気的出力は無歪1.6W、最大2W、消費電力25VAである。外形寸法は幅576×高さ164×奥行156mmで、重量は2.5kg。現金正価は¥9,980。



●ホーム・ステレオ・アンサンブル “HE-33”

アンプ部 RA-33、プレーヤー部 HP-32、スピーカー部 HS-33が2つという4点ひとそろいのセットである。チューナー・アンプ部は12BE6×2, 12AV6×2, 30A5×2, 6CW4, 19A3, 12ZE8の11球で、MW 535~1605kcが2チャンネル、SW 3.8~12Mcが1チャンネルになっている。電気的出力は無歪1.2W×2、最大が1.5W×2、S/N比-55dB以上、クロストーク-34dB以上、周波数特性は60~



【訂正】先月号の本欄に掲載された世話産業KKの新製品の型名HC-6/L HC-61.L, HC-18.LはHC-6/U, HC-61/U, HC-18/Uの誤りでしたので訂正させていただきます(坂店)



15000 c/s (±0.5 dB), 外形寸法は幅 372×高さ 173×奥行 255 mm で、重量は 4.7 kg.

プレーヤー部は、4 スピード (リムドライブ型) で、PU はターンオーバー式ステレオ・クリスタル型 STX-57 を使っている。出力は ST-LP が 0.8 V, SP が 0.6 V, 針圧 8g. ターンテーブルは直径 17 cm である。スピーカーは 18 cm 型が幅 314×高さ 243×奥行 255 のキャビに収められていて、再生周波数は 60~15000 c/s, インピーダンス 8 Ω, 許容入力 6 W である。

これらを総合した外形寸法は、幅 1010×高さ 748×奥行 255 mm で、重量は 15.7 kg である。現金正価は ¥ 32,800.

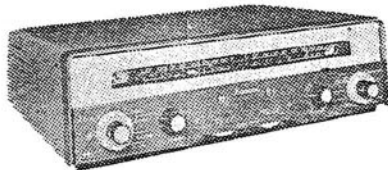
(大阪府北河内郡門真町 Tel. 99-1151)

松下電器産業・ラジオ事業部

山水のステレオ=アンプ

“SM-11B”

団地向きのホーム・アンプとして売り出したもので、終段 6BQ5 で 5.5 W×2 というから、家庭用として 6~8 畳間ぐらいい好適なものである。チューナー部は MW 535~1605 kc が 2 チャンネルで SW 3.5~10 Mc が 1 チャンネル。BC は帯域幅が SOFT (6 kc -3 dB) と Hi-Fi (15 kc -3 dB) の 2 段に切換えられる。SW 部の帯域幅は 7 kc である。感度は MW が 56 μV (1000 kc 0.5 W 出力), SW が 100 μV (6 Mc 0.5 W 出力), 同調指示はマジックアイとなっている。使用真空管は 6BE6×2, 6BA6×2, 6E5×2, 12AX7×2, 6AQ8×2, 6BQ5×2, 6CA4, ゲルダイ OA79×2 の合計 13 球+2 石である。メイン・アンプ部の特性は 50~60,000 c/s が 1 dB 以内 (出力 1 W にて) 出力インピーダンスは 8, 16, 32 Ω が各 2 組である。プリアンプ部の入力端子は MAG (Tape), Xtal, AUX で、S/N 比は 52 dB 以上、イコライザー RIAA, トーン・コントロールは CR 型である。消費電力は 97 VA. 外形寸法は幅 408×奥行 361×高さ 134 mm で、重量は 11.2 kg, 現金正価は ¥ 22,500.



(東京都杉並区和泉町 460 Tel: 328-0111)

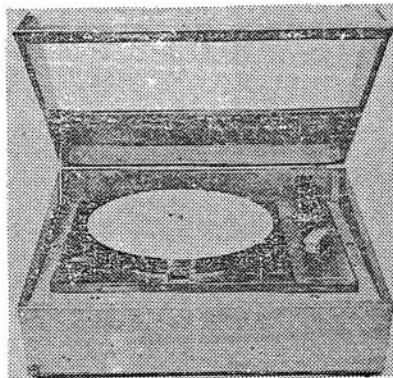
山水電気 K. K.

ニートのステレオ・プレーヤー

“NP-6815H”

本機は高級なプロフェッショナル・タイプの 4 スピード・ステレオ・プレーヤーである。モーターはコンデンサー進相方式の 4 極ヒステリシス・シンクロナス型で、入力 15 W. ターンテーブルはアルミ合金鋳物 (30 cm), S/N 比は 45 dB 以上、ワウは 0.25% 以下、回転数は 16²/₃, 33¹/₃, 45, 78 rpm. PU は 30 cm ステレオ用 6 端子プラグイン式のトーン・アームを使い、カートリッジは 4 ポール 4 コイル式ムービング・マグネット型で、針はダイヤモンドである。レスポンスは 30~18000 c/s, 出力電圧

はコンプライアンス 1.9×10⁻⁶ dyne/cm, チャンネル・アイソレーション 30 dB (1,000 c/s), 25 dB (10,000 c/s), チャンネル・バランス ±1 dB (1,000 c/s) となっている。定価はダイヤ針つきで ¥ 36,000.

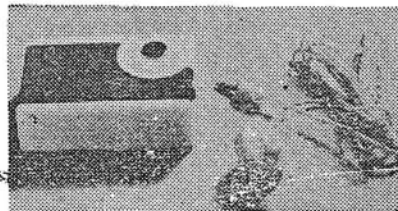


(東京都千代田区神田旅籠町 1 の 4)

ニート音響電機 K. K.

フジヤマの 1 石ラジオ

たばこのピースと同じ大きさの 1 石トランジスター・ラジオである。本機はトランジスター 1 個にゲルダイ 2 個を使用したレフレックス回路になっている。イヤホン・ジャックが電源のスイッチを兼ねているので、イヤホンを挿入することにより電源は ON になる。値段は完成品が ¥ 1750, キットが ¥ 1650.



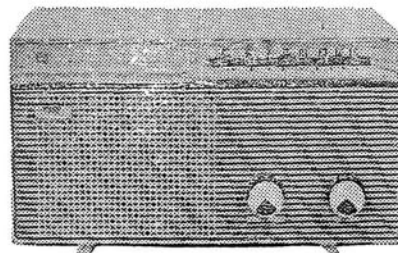
(東京都港区芝新橋 4-46)

富士山電気工業 K. K.

NEC の新製品 3 種

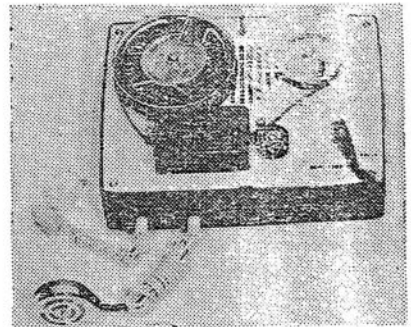
●6 石ホーム・ラジオ “NT-680”

535~1605 kc の 6 石トランジスター・ラジオであるが、卓上型キャビに入れてある。スピーカーは 10 cm 丸型である。実用電界強度は 200 μV/m. 5 mW, 最大出力は 150 mW. 電池は単一または特単一を 3 個 (4.5 V) 使っている。電池の寿命は約 150 時間, 外形寸法は幅 268×高さ 149×奥行 116 mm で、重量は約 1.7 kg (電池とも)。現金正価は ¥ 7,700.



●ミニレコーダー “RMT-300S”

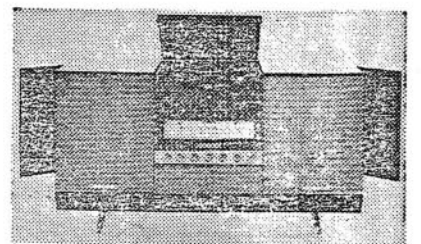
NEC のトランジスター 5 個を使った超小型のテープレコーダーである。テープ速度は 9.5 cm/秒, 4.75 cm/秒 の 2 スピードで、ダブル・トラックだから 3 型テープで 4.75 cm 秒なら往復約 1 時間の録音・再生ができる。録音は直流バイアス方式、消去は直流消去である。巻戻し時間は 3 分以下。外形寸法は幅 190×奥行 150×高さ 67 mm である。重量は約 1.3 kg. 現金正価は ¥ 34,000.



●ステレオ・アンサンプル “NS-300A”

2 ウェイ・スピーカーを左右にもち、中央に 16 cm 丸型スピーカーを配してある。ステレオ・ラジオアンプ “NSA-300A” は左右チャンネルとも BC 535~1605 kc と SW 3.8~12 Mc の 2 バンドになっており、使用真空管は 14 球。出力は 6 W×2, と中央チャンネル最大 2 W となっている。外形寸法は幅 460×奥行 350×高さ 403 mm で、重量は 16.5 kg である。

スピーカー・システム “NSS-300 A” は、右・左チャンネルとも 2 スピーカー式で、インピーダンスは 8 Ω. 再生周波数範囲 50~12,000 c/s, 側面扉つきである。外形寸法は幅 420×奥行 350×高さ 585 mm で、重量は 1 個あたり 11 kg. プレーヤー “NSP-300A” は 4 極インダクション・モーターで、4 スピード、ターンテーブルは 25 cm ゴムシート付、回転微調範囲は ±4%, PU は P-730 A 型クリスタル・ピックアップ (針圧 6~8g). 外形寸法は幅 460×奥行 350×高さ 185 mm, 重量 8.5 kg である。現金正価は ¥ 86,000.

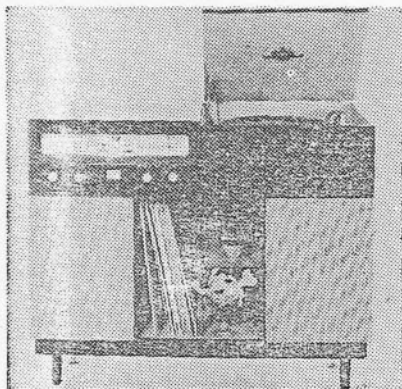


●ステレオサウンド “NS-110A”

ステレオ・ラジオ・アンプ NSA-110A, SP システム “NSS-110A”, プレーヤー・ユニット 100B の 3 点ひとそろいのセットで、スピーカーは高音用 8 cm と低音用 16 cm が左右チャンネルについている。チューナー部は 535~1605 kc と 3.8~12 Mc の 2 バンドで、低周波部分は 2 チャンネルで出力は最大 3 W×2 となっている。プレーヤーは 4 スピードのインダクション・モーターがついている。これらをアンサンプルとした場合の外形寸法は幅 810×奥



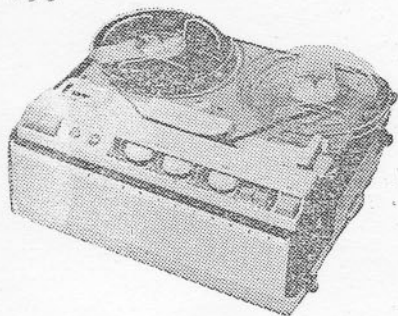
行 370×高さ 684 mm で、重量は 21.5 kg である。現金正価は ¥ 34,700。



(大阪市北区梅田 2 第一生命ビル内)
新日本電気 K. K.

ソニーのステレオコーダー“461”

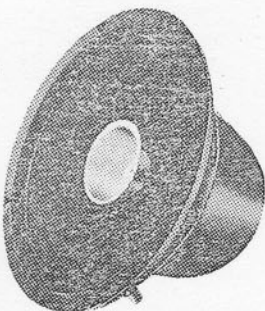
4トラックのステレオ・テープレコーダーである。テープ速度は 19 cm/秒 と 9.5 cm/秒の2スピードで、使用テープは7型までである。録音再生チャンネルは4トラック・ステレオ、4トラックモノラル、トラック形式は4トラック2チャンネルだから、7型テープで9.5 cm/秒でモノとすれば、4時間の録音再生ができる。録音方式は交流バイアス式、レベル指示にマジックアイ2本が使われている。使用真空管は12AX7, 6AU6, 6AR5, 6X4, 6ME10×2、出力は2.5 W (出力インピーダンス 8 Ω)、入力回路は各組ともマイク入力1、線路入力1である。外形寸法は幅 375×高さ 160×奥行 315 mm で、重量は約 8.5 kg。消費電力は 8.5 kg である。



(東京都品川区北品川 Tel. 442-5111)
ソニー K. K.

フォスターのスピーカー “FE-160”

新発売の Hi-Fi スピーカーで、口径は16cm。ダブル・コン型のものである。VC インピーダンスは 16 Ω、最低共振周波数は 70~90 c/s、再生周波数帯域は 50~15000 c/s、空隙磁束密度は 10,000 ガウス、最大許容入力 は 5 W である。このスピーカーは Q が低くしてあるので小型



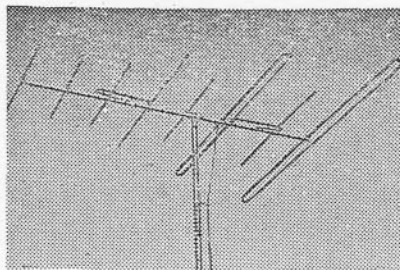
のキャビネット (バスレフ型) を使っても低域までフラットに再生できる。

小売正価は ¥ 1,550。
(東京都三鷹市下連雀 384 Tel: 0223-3111)
フォスター電機 K. K.

マスプロ・アンテナ

ウエーブマスター

テレビ・アンテナのメーカーである昭和電機工業が白黒・カラー受像共用として次の 10 機種を売り出した。これらはウエーブ・マスターと名付けられている。ウルトラ・トラップをつけた合成ダイポールおよび合成導波管を採用したため1~3チャンネルと4~12チャンネルともに高感度で受信することができる。また7エレメント以上の反射器はフォルデット型とし、ゴースト、雑音を軽減し、アーム固定にはわが国ではじめてのV型鋸歯状金具が使われていて方向が変わることは絶対がない。



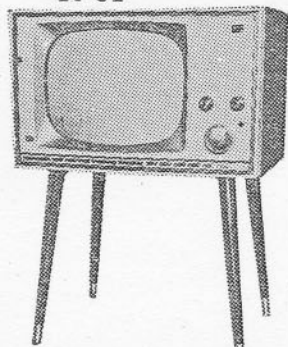
(第1~第12チャンネル用)		(第1~第6チャンネル用)	
型式	正価	型式	正価
112 W 3	600	16 W 3	610
112 W 5	810	16 W 5	830
112 W 7	1,590	16 W 7	1,750
112 W 8	2,100	16 W 8	2,350
112 W 10	3,000	16 W 10	3,250

(名古屋市熱田区沢下町 82)
昭和電機工業 K. K.

テレオマスター14型TVキット “14-CT”

テレビ商会からコンパクト・タイプの脚つき14型テレビ・キット“14-CT”が発売された。故障の少ないセミトランスレス方式を採用し、HH シリズ管を使って感度もあげ、構造はコンパクトにまとめられている。また自動切換式のイヤホンがついている。

(東京都千代田区神田花房町 5
Tel: 251-2391) K. K. テレビ商会

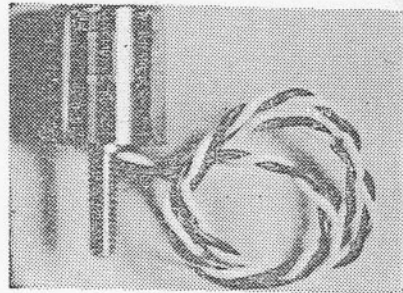


ハイマックスのテレコ・ヘッド “P8A”

写真にのらんなようなテープレコーダー用ヘッドが売り出された。その特性を列記すると、

(P.R) 録音再生用 インピーダンス (1 kc) 2.8 kΩ ±20% インダクタンス (1 kc) 0.4 H, DC 抵抗 500 Ω, バイアス電流 (D.C.) 0.2~0.3 mA, 録音電流 0.05 mA 飽和より -12 dB, 録音感度 (1 kc) -50 ±3 dB, 1 kc に対する速度 19 cm, テスト・テープ 3M-111A, トラック幅 3.2 mm, ギャップ 0.04 mm, 1 kc に対する 10 kc 出力 -8 dB ±3 dB.

(E) 消去用は、DC 抵抗 500 Ω, 電流 2~4 mA (DC), 消去率 1 kc -45 dB 飽和録音。テストテープ 3M111A, トラック幅 32 mmA, ギャップ 0.01 mm となっている。

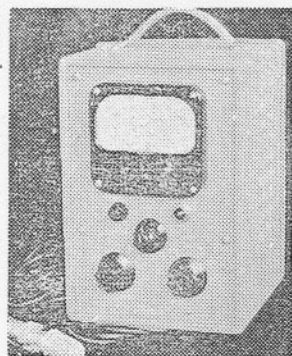


(東京都世田谷区太子堂 284 Tel: 414-6326)
K. K. ハイマックス

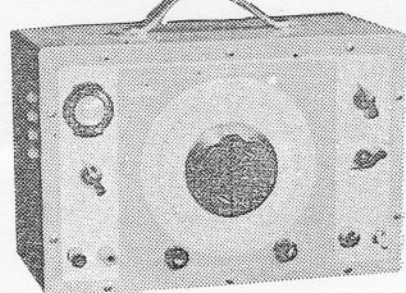
ラメールの測定器2種

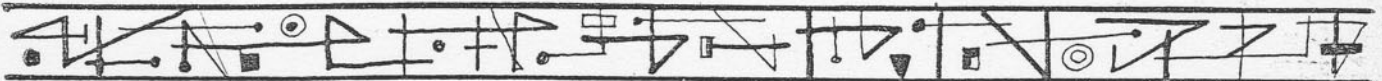
●バルボロ “VM-700, VM-700A”

超広帯域の真空管電圧計である。測定範囲は AC 0~3000 V (6レンジ), DC 0~1000 V (7レンジ), 抵抗 0.2~500 MΩ (7レンジ), 精度は ±3% 正弦波直流全レンジ (フルスケールにて), 共振周波数 1500 Mc, 入力インピーダンスは入力容量 1.5 pF にて 10 MΩ (低周波帯域), 100 MΩ (直流)。VM-700 は特注高級型で、VM-700A はジュニア型となっていて、周波数特性は前者が 700 Mc まで、±1.5 dB 以内、後者が 300 MΩ まで ±1.5 dB 以内となっている。外形寸法は 26.5×680×175 mm である。



●コンデンサー・チェッカー “LM-CC-101”





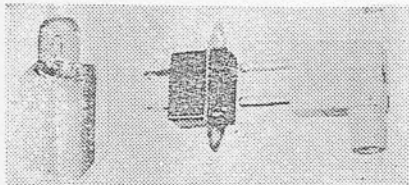
本器は米国テレオーム社の TO-3 型と同規格のもので、主に現場用として、適するよう堅牢に作られている。容量測定範囲は 0.1~100 μ F, 0.001~0.5 μ F, 0.00001~0.005 μ F で、いずれも誤差は $\pm 10\%$ 以内である。その他電解コンのリーケージ測定、ペーパー、マイカ、オイル型の絶縁測定、100 k Ω ~50 M Ω の高抵抗測定などができる。

(東京都目黒区中目黒 4-1468 Tel: 713-2273)
K. K. 双葉製作所

昭和無線の小物パーツ

●小型 2P 平型コンセント：写真(右)のようなプラグのコードの接続が側面よりできるものである。

●絶縁つきパイロット・ソケット：従来のものと異なり、ポリエチレン製の絶縁を用いて作られており、取付箇所も 2 箇所あるので、絶縁度も高く、取付の自由もきく。



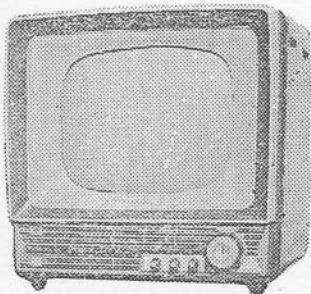
(東京都品川区戸越 5-24 Tel: 782-2101)
昭和無線工業 K. K.

古鷹無線の TV キット “FT-61”

古鷹無線キットはいずれも東芝の真空管やブラウン管を使っているが、この 14 型キットも東芝の新型真空管 GM-P17, 6R-B11, 6R-K19 を採用したため、音声出力の増大と垂直および水平回路に改良が加えられている。また本キットには 2 スピーカー型と 3 スピーカー型がある。なお、本機は完全トランス方式で、操作はワンタッチ・コントロールとなっている。

(東京都千代田区神田旅籠町 3-7)

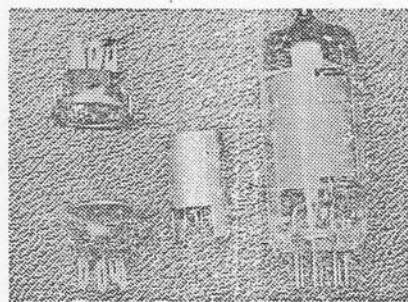
古鷹無線 K. K.



QQQ のヌビスター用ソケット

真空管のニューフェイス、超小型のヌビスター用のソケットである。直径 14.1 ϕ 、高さ 14 mm 以下で、シャシーに簡単な抜穴をしてハンダづけで固定する構造になっている。適合ベースは JEDEC NoE5-65 で、代表的なヌビスターは 6CW4 である。モールド基板に高周波特性の優れた高絶縁性のエポキシ樹脂を使用している。接続部は 4 種類のピンサークルに対して合理的に配置され、直径 0.4 ϕ のヌビスター・ピンに対して充分な保持力と接触を有し、

インデックス・ガイドが附属しているので差込みも容易である。

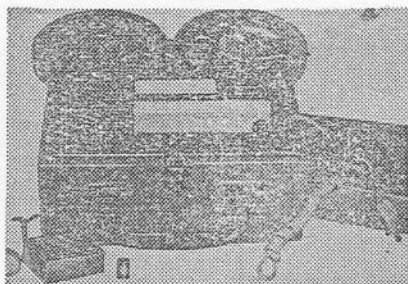


(東京都大田区大森 2 の 181 Tel: 761-5539)
中央無線 K. K.

インターナショナル・マー チャンダイスの新製品 2 種

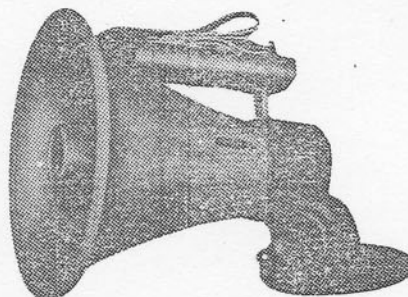
●小型テレコ “ニッコーダー 501”

本機は 248 \times 180 \times 128 mm で、重量 3.5kg という、小型・軽量なもので、テープ速度は 9.5cm/秒と 4.75cm/秒の 2 スピード、使用テープは 3 型と 5 型である。使用真空管は 50C5, 12AX7, 35W4、ダブルトラック方式である。巻戻し時間は 2 分。周波数特性は 100~7000 c/s (9.5 cm/秒), 200~5000 c/s (4.75 cm/秒), ワウ・フラッターは 0.3% 以下 (9.5 cm/秒), 0.5% 以下 (4.75 cm/秒)。スピーカーは 10cm \times 7cm 楕円型のもので、出力は 1W、消費電力は 1W となっている。



●トランジスター・メガホン

3 石のトランジスター・アンプを内蔵した電気メガホンである。大きさは、スピーカー口径 250 mm、長さ 270 mm で、重量は電池ともども、1.45 kg である。電池は単二 \times 6 (9V) である。音量は 110 ホーン、有効音声到達距離は約 300 m で、連続使用で約 10 時間、断続使用で約 15 時間、出力は 3W (最大 5W) となっている。正価は \yen 15,600。



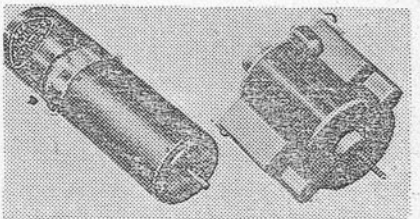
(横浜市山下町 76) インターナショナル・マーチャンダイス Co.

レックスの超小型モーター

ミニモーターとユニモーターという 2 種類があり、いずれも起動性において機械的、電気的騒音を極小におさえ、高安定度を保つように設計されている。小型テレコ、レコード・プレーヤー、8 ミリ・シネカメラなどに好適なものである。

[ミニモーター RM-18] 直径 18 mm、長さ 55 mm、軸径 2 mm、重量 48 g、定格負荷 7 g/cm 65 mA (0.22 W)、定格回転数 3000 rpm、電圧 6.5~9V である。

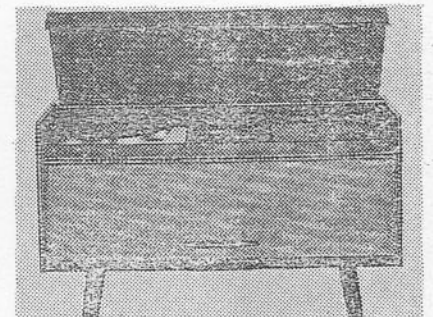
[ユニモーター RM-22] 直径 30 mm、長さ 48 mm、軸径 2 mm、重量 100 g、定格負荷 12 g/cm 95 mA、定格回転数 1500 rpm、電圧 6~9V である。



(東京都足立区小台町 687 Tel: 911-3804)
レックス電機 K. K.

ビクターのパーフェクト・ サウンド・ステレオ

レコードの演奏もハイファイからステレオ時代になり、ますます臨場感ということが要求されるようになってきた。そこでビクターでは、実際の演奏をきいた場合に必ずあるはずの残響効果を再現するため、エコー装置 (残響附加装置) を完成した。写真 (上) にごらんのようなもので、この入力端子から出力端子へ抜ける間に適当な残響効果を織り込もうというわけ。



写真の下の方は同社のステレオ電器 STL-37 型であるが、これの中にもエコー装置が組込まれている。なお本機には 20 cm ダブルコーン・スピーカーが 2 個、ローパス・フィルター、リモート・バランス・コントロールなどがついていて、また同社自慢のパーフェクト・ビックアップもついている。

(東京都中央区日本橋本町 4-1)

日本ビクター K. K.